

プレスリリース
報道関係者各位

2010年11月9日
環境エネルギー政策研究所(ISEP)

デリー再生可能エネルギー国際会議 (DIREC2010) への参加報告

インドのニューデリーにおいてデリー再生可能エネルギー国際会議(DIREC2010)が10月27日から29日までの3日間開催され、環境エネルギー政策研究所(東京都中野区、所長 飯田哲也)からも参加したので、その概略を報告する。この国際会議は、2004年にドイツのボンで始まり、2005年の北京、2008年のワシントンDCと続く、第4回目となる。インド政府が主催し、REN21(Renewable Energy Policy Network for the 21st Century)、ドイツ政府やノルウェー政府が協力をしている。会議のテーマは、「エネルギー安全保障、気候変動抑制、および経済発展のために再生可能エネルギーを主役として拡大させる」こと。

会期中は各国の政府関係者、再生可能エネルギーに関する多くの国際組織、NGO、民間団体などにより幅広い議論が行われた。議論は4つのトラックに分かれて行われ、技術とインフラ、政策、金融、そして途上国での再生可能エネルギーによる開発についてより深い議論が行われた。政策のトラックでは、欧州や途上国での再生可能エネルギーの急成長に対する各国の政策の評価が議論される中、所長の飯田哲也から日本の再生可能エネルギー政策の現状が報告された。また、当研究所の研究部長でありREN21が発行する「世界エネルギー白書2010」の編集者でもあるEric Martinotが、長期シナリオに関するセッションにおいてモデレータを務め、欧州などで発表されている100%再生可能エネルギーシナリオなどについて議論が行われた。その他、多くのワークショップやサイドイベント、国際展示会も開催され、NEDOがスマートグリッドに関するワークショップと展示を行っていたが、会議全体を通して日本の存在感がとても希薄な状況であったことは非常に残念であった。

最終日には、これまでの4つのトラックの議論から見えてきた重要ポイントが紹介され、世界で急拡大する再生可能エネルギーの現状と課題について整理され、この会議の成果として13項目に渡る「DIREC宣言」が採択された。REN21が実施している国際的な意思表明プログラム(DIAP)には30のエントリーがあり、日本からは東京都と横浜市のみがエントリーしている。次回の国際会議は2012年頃にUAEのアブダビで開催される予定。

DIREC2010の詳細は、自然エネルギー政策ポータルサイト(JREPP)の特集ページを参照：
【DIREC2010 特集ページ】<http://www.re-policy.jp/DIREC2010/>

【このプレスリリースに関するお問い合わせはこちら】

特定非営利活動法人 環境エネルギー政策研究所(ISEP) 担当:松原、氏家
〒164-0001 東京都中野区中野4-7-3 E-mail: info01@isep.or.jp
TEL: 03-5318-3331, FAX:03-3319-0330